

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」の重点目標

重点的に取り組む課題	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	本年度の 目標値
教職員の時間外勤務の是正	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間や地域学習の際に地域を知らない教職員が教材研究や準備・調整をすることは大きな負担となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コーディネーターと地域連携教員は、学校と地域の連絡調整等を行い、地域人材の開拓や校外学習の授業サポートを行うことで、教職員の業務負担を軽減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コーディネーターの授業サポートにより、子どもと向き合う時間が増え、教員の業務負担が軽減するとともに地域人材を活用することで地域との多様な活動が可能になり、児童生徒の地域への愛着が深まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートで地域人材の活用や地域学習の負担軽減ができたと回答する教職員の割合</li> </ul>	70%